

6/7 花と緑があふれるまちづくりに貢献



▲市役所花壇の手入れをする「はばたんの風」のメンバー。

ボランティアグループ「はばたんの風」の田井敏司代表（田原町）が、フラワーセンターで花と緑の郷土づくり功労者として、（公財）兵庫県園芸・公園協会理事長から表彰されました。

田井さんは、平成16年10月から同グループの代表を務め、市内の花壇や公園などで花を育てることで、まちに彩りある空間を創られています。

6/22 プロから学ぶフットサル



▲ボールを追いかける参加者ら。

プロフットサルチーム「デウソン神戸」の選手から学ぶ「フットサルアカデミー2016夏」（全8回）がスタートしました。

鬼ごっこをして足腰を鍛える基礎練習から、ポルトガル語を使ったパスやシュートなどの本格的な練習まで、キッズ（小学4～6年生）36人、大人（16歳以上）50人が、技術の習得に励んでいます。

7/1 犯罪や非行のない安全・安心な社会を



▲キャンペーン用品を配りながら啓発活動をする参加者。

犯罪や非行をした人たちの再犯・再非行をなくし、「あやまち」からの立ち直りを支える地域をつくろうと、北播保護司会加西分区や更生保護女性会、警察、市などが、「社会を明るくする運動」を行いました。

参加した約120人はアスティアかさいで、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない社会を築いていくことを呼びかけました。

7/9 加西病院で医療の世界を体験



▲腹腔鏡手術の模擬体験をする参加者。

加西病院は、市民と病院職員が交流することで、病院の活動や現状を知ってもらおうと、「第13回ホスピタルフェア」を開催しました。

血圧・血糖等を測定して自身の健康状態の確認や、手術で実際に使う器具を用いた電気メス・腹腔鏡手術の模擬体験をするなどして、多くの方が病院職員と触れ合いました。

播磨国風土記の里 加西

事業の取り組み等を紹介



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載



子育て、定住支援情報

子育て・定住支援情報サイト



かさい子育てNAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決



7/16 「かぶと虫列車」 出発進行



▲かぶと虫を手に取る子どもたち。

北条鉄道は、車内を木の小枝や葉で飾り森に見たてた「かぶと虫列車」を3日間（13便）運行。列車は北条町駅と粟生駅間を約1時間かけて往復しました。

かぶと虫のつがいをプレゼントしてもらった子どもたちは、「大切に育てたい」と意気込んでいました。

今回は、北条高校や播磨農業高校の生徒および市民ボランティアなどにご協力いただきました。

7/16 復興支援のためにできることを



▲募金活動をする北条高校の生徒。

熊本地震の被災地を支援しようと、「第7回ハチドリまつり」が日吉神社（池上町）で行われました。

会場では、居合演武や古武道の披露、泉中学校吹奏楽部や加西市吹奏楽団の演奏などもありました。アンデス地方のハチドリの物語をもとにチャリティーイベントが開催され、売り上げの一部と集まった募金は復興のために使われます。

7/19 蓮花のライトアップ



▲蓮花ライトアップ大作戦～朝もよし夕べはなおよし蓮の花～。

野田町にある蓮池で、蓮花のライトアップが18日から1週間ありました。

下里地区ふるさと創造会議が「第1回ふれあいフェスタ」の一環として企画されました。

その他にも、戦国時代に「善防師城」と呼ばれた善防山の登山や創作人形鑑賞などもあり、市内外から多くの方が訪れました。

7/20 フォトコンテストの入賞者



▲最優秀賞の上原さんの作品「桜花爛漫 NO1（丸山総合公園）」。

平成28年2月から5月までの加西の伝えたい景色を撮った写真展を行いました。投票の結果、応募総数49点の中から入賞者が決定しました。

最優秀賞／上原宏明（東長町）

優秀賞／橋本敏代（福崎町）、岡田良則（網引町）

佳作／辻昇三（両月町）、小池年生（神戸市西区）

※現在、6月から9月の写真を募集中。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちなび」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」



災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

